

スマートシティの実現に向けた技術提案書

様式1

提出年月日： 2020 年 1 月 8 日

提案団体名： 株式会社ソリトンシステムズ (複数団体による提案も可とします)

○提案内容

(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等

※スマートシティの実現に資する技術については、別紙の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください

技術の概要・実績等	技術の分野
<p>・通信ネットワーク技術とセンシング技術 累計出荷18,000台を超えるロングセラーである無線LAN認証サーバNet'Attest EPSシリーズで培う証明書認証技術。2019年には顔認証やQRコードを用いたパスワードレス認証スキームの提供、EPS Cloudの提供など実施している。また、データ分析プラットフォームSoliton NKの提供を開始した。例えば、EPSの認証ログを収集・分析することにより、異常な認証要求や証明書の有効期限切れ等を速やかに把握することが可能である。Soliton NKはバイナリーデータをそのまま読み込むことが可能なので、スマートシティで採用されるIoTデバイスやセンサーからのデータ収集・分析に活用可能である。一方、人感センサーやBLEカメラのセンシングデバイス開発を進めており、それらを統合したプラットフォームの提供が可能である。対応するテーマ(1)、(4)</p> <p>・超短遅延映像伝送技術 RASCOW 5GやLTEのモバイル回線を使って安定的に高品質な映像を伝送する独自開発のプロトコル、通信制御技術。帯域に応じた圧縮率の調整、エラー訂正などをリアルタイムに行うことで揺らぎのある無線ネットワークにおいても映像を伝送可能です。 NHKと共同開発した技術をベースとして"Smart-telecaster"のブランドで映像伝送アプライアンスとして販売しており、放送局、警察、消防などの現場で数多くの実績を持ちます。 また、Glass to Glass 35ミリ秒の"超"短遅延性能を有しており、自動運転車、農機・建機、ドローンなどの遠隔</p>	(1) (4)

(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ

※課題については、別紙の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください

	課題の分類
<p>・(ケ)(1)の技術はデータを収集し分析する基本的なものであるため、都市・地域が運用するシステムのセキュリティ確保にとどまらず、あらゆる課題解決を支える基盤になるものである。例えば、交通モビリティにおいて、ユーザの位置情報や目的地情報を収集する際、セキュリティを確保しつつなるべく手数をかけずにデータを収集するには、記載した技術が活用できる。さらに、各種センサーからの情報を組み合わせることにより、個人特定あるいは不審者検知等に活用することが可能であり、これは多くの課題解決の基礎となるものである。</p> <p>・(ア)自動運転車、農機・建機の補完としての遠隔運転・操縦の活用。 自立制御で対処できない作業を遠隔から短遅延映像を見ながらオペレーションする。屋外の過酷な環境での作業負担を軽減する「働き方改革」、「新たな雇用創出」の一環としても活用する。</p> <p>・(ウ)防災用途として、ローカル5G等を活用した監視カメラネットワークを構築。有線を敷設せずに低コストで高品質な河川の監視等を実現する。また、ドローンを用いた遠隔・無人での状況把握にも活用可能。</p>	(ケ) (ア) (ウ)

(3) その他

※(1)(2)について、複数ある場合は項目毎に対応の記載をお願いします。

※既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、別途そのプロジェクト単独での提案も可能です。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
ITセキュリティ事業部 Cyber Security 1G	保澤 秀多	03-5657-4051	shuta.hozawa@soliton.co.jp